

## 「孫娘との正月」

それは今年の正月のことです。7歳と4歳の孫娘2人が遊びにきました。4ヶ月振りのことですが、7歳の姉がめっきりおませになって、手にマニキュアをしてほしいと女にねだっていました。女はこの子が自分のDNAの一部を引き継いでいるかも知れないのに「この子は将来AKBに行くかもしれない」ととてつもない妄想にとりつかれています。

約1時間後、2階にいる私のところにおもちゃの化粧道具をもってやってきて、「おじちゃん、顔が汚れているから、お化粧してあげる。」と申しました。「顔が汚れている?」、私はこの表現に驚きましたが、一方でほんわかした気持ちになりました。「顔が汚い」と言われていたらショックを受けたでしょう。

漢字で書けば「汚」ですが、「よごれている」と「きたない」では大違いです。例えば、ころんで土がついて「よごれている」なら拭き取れば或いはさっと洗えばきれいになります。一方、「きたない」は何度洗っても落ちない頑固なよごれ或いは手で触りたくないゴミを連想させます。

私は生来、肌が弱く、日焼け・かじりの傷跡・加齢などで、顔一面にひまわりの種を蒔いたようなシミが目立ってきています。このシミは小林製薬の「ケミシ」でも世界のどんなクリームでも消すことができないでしょう。保険のきかないレーザー治療をすれば消せるでしょうが、そうすれば長期にわたって食事のおかずを減らされることになるかもしれません。そんなことはできません。

結局は孫娘の申し出を丁寧にことわりましたが、私に親しみを持っていてくれる事、そして子供から大人へ続く階段を少しずつ歩き始めている事を思い幸せな時間を過ごしました。

少し前まで口数の少なかった4歳の妹が、帰り支度をしている時に「おじちゃんの頭に毛がない」「おじちゃんの頭に毛がない」とたてつづけに2回言って帰っていききました。これも親しみの表れでしょうか？

あきら